

CN

CampusNOW

No.
118
2026.03

100年続く、自分を作る

学校法人 総持学園

鶴見大学

大学院 歯学研究科 (博士課程) 歯学専攻

文学研究科 (博士前期・後期課程)

日本文学専攻・英米文学専攻・文化財学専攻・

ドキュメンテーション専攻

歯学部 歯学科

文学部 日本文学科・英語英米文学科・文化財学科・

ドキュメンテーション学科

鶴見大学短期大学部 保育科・歯科衛生科・専攻科 保育専攻

鶴見大学附属中学校・高等学校

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園

発行 / 鶴見大学・鶴見大学短期大学部 編集 / 総務課

〒 230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

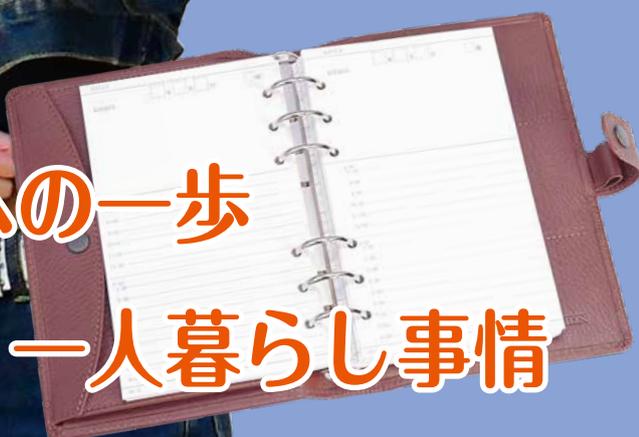
<https://www.tsurumi-u.ac.jp>



Focus!!

就職FRONTLINE 未来への一歩

鶴大生・鶴短生に聞いてみた 一人暮らし事情



一人では見えなかった強みを見つけた就職活動

文学部文化財学科4年 **田村 美空さん**

内定先：株式会社大阪屋ショッピング



就職活動で見つけた 自分に合う職場

地元の富山県内で就職することを目指しつつ、文化財学科の学びを活かせる道も視野に入れていましたが、求人も不定期であることから業種を広げて就職活動を行いました。

就職活動は2年次から動き出し、企業説明会は数えきれないほど参加しました。頻繁に帰省することが出来ないの長期休暇を利用して、説明会やインターンシップにも参加しました。そんな中、マイナビで見つけたのが北陸中心で鮮魚を強みにしているスーパーの大阪屋ショッピングでした。職場体験に参加した際の職場の雰囲気も決め手ですが、商品や段ボールを陳列する向き一つで購買意欲が変わることなど、お客様に満足していただけるように考え、体を動かしながら働けるところが自分に合っていると思い進路を決めました。

言葉にできない強みを形に

キャリア支援課にはたくさんお世話になりました。面接対策も含め、特にエントリーシートを書く際にはよく相談に乗っていただきました。自分の強みを文字として表現するのに適切な言葉が思いつかず、何度も通りアドバイスをいただきながら無事に書き上げることができました。また、3年次の春休みに面接を受けるため帰省していた際に、オンラインで相談に乗っていただいたことも大変助かりました。

皆さんも就職活動の際、どうしても自分を表現する言葉が思いつかず悩むこともあるかと思いますが、ぜひキャリア支援課へ足を運んでください。的確なアドバイスをいただけずし、面接対策も他の受講者に聞いてもらいながら練習できるので、実践でとても役に立ちます。

自分の好きなことをポイントに就活スタート

文学部日本文学科4年 **南保 こゆきさん**

内定先：カネ美食品株式会社



食の大切さを追求する 姿勢が一致

就職活動は、3年生の夏休み前から本格的に始動しました。自分の好きなことをポイントに就職活動を始めたいと思い、まずは大好きな「食」への興味関心から食品関係もしくは趣味の着物関係の2本柱で就職活動をスタートしました。その中で、カネ美食品には、eat(食べる)+fashion(ファッション)をかけたeashion(イーション)という洋風お惣菜のブランドがあり、味だけではなく、見た目にもこだわりを持っている点や、食を大事にしているところが、私の考えやポイントと一致したことが決め手となりました。

客観的なアドバイスで苦手を克服

就職活動の中で、一番苦労したのが自己PRの作成です。自分の悪いところに目がいってしまう癖がありました。その短所を乗り越えるのは大変でしたが、キャリア支援課の方々には本当に助けていただき、克服することができました。

自己PRを作成するにあたり、最初は家族や友人に、自分の長所を徹底的に探してもらいましたが、私を知ってくれている人たちなのでどうしてもフィルターがかかってしまいます。しかし、キャリア支援課の方々に客観的な立場でアドバイスしていただいたことで、新たな気づきを得ることができました。

キャリア支援課には週3回ほど通うこともありましたが、その中で、「人や状況を見て、柔軟に動けるタイプですね」と言われたことが自信になり、新たに長所を見つけることができました。これが大きな転換期となり、面接試験では自信を持って自己PRができ、面接官と打ち解けた雰囲気で話すことができるほど手応えが得られました。

最後に後輩の皆さんには、まず大学生活を目一杯楽しんでほしいと思います。将来のことを考えて不安になることもあるかと思いますが、今だからこそできる経験は必ず未来につながると信じてください。

失敗を次に活かす姿勢が導いた 保育士への道

短期大学部保育科2年 **富澤 夢衣さん**

内定先：東京都大田区(保育士・児童指導)



働く環境を軸にした進路選択

保育士を目指すにあたって、地元である長野県内で就職を目指しつつ、首都圏も視野に入れながら「チャンスがあれば挑戦してみよう」という気持ちで情報を集めました。最終的には募集人数や通勤アクセス、働く環境なども考慮した結果、自分が最も働きやすいと感じた大田区を受験先として決めました。

困ったときこそ学び。失敗が次に生きる

就職活動では、保育科の実習で学んだ「失敗を次に活かす姿勢」を常に意識して取り組めたことが内定に繋がったのだと感じています。

実習の際には、先生方からお願いされたことに対しても、自ら積極的な姿勢で取り組みました。もちろん初めての経験で大変なことも多く、失敗もたくさんしましたが、その度に「何が良くなかったか」を振り返り、先生方からアドバイスをいただきながら少しずつ成長することができました。また、子どもたちと接する中で、自分では伝えているつもりでも届いていないことが多く、言葉選びや子どもたちに向けた伝え方の難しさも実感しました。

振り返れば「困ったこと」「上手くいかなかったこと」は数えきれませんが、その一つひとつが自分を成長させてくれた貴重な経験だったと感じています。

キャリア支援課の細かく丁寧なアドバイス

キャリア支援課はとても活用させていただきました。特にエントリーシート作成では、伝えたい内容がしっかり伝わるよう細かく丁寧に添削していただきました。また、面接練習では「もっと自分の言いたいことを明確に伝えた方がよい」と具体的なアドバイスをいただき、練習を重ねたことで本番でも落ち着いて自分を表現できたと感じています。

就職活動では不安も多いと思いますが、失敗を恐れずに積極的に挑戦してみてください。きっとその経験が次につながります。

専門性を身につけ、地元の 医療現場で働きたい

短期大学部歯科衛生科3年 **小林 舞衣さん**

内定先：地方独立行政法人 静岡市立静岡病院



実習から芽生えた将来像と

就職意識

目標を持たずに学生生活を過ごしたくないという思いから、国家資格を取得して専門性を高められる歯科衛生科に進学しました。

短大生活で特に力を入れたのは実習です。2年次後期から3年次前期の外部実習では、友だちと離れて一人で取り組む場面が多く精神的な苦労もありましたが、多様な症例に触れ高度な医療に関わりたいという思いが強まりました。さらに全身疾患への対応や医師・看護師などの他職種連携の重要性も実感し、より専門性を高められる口腔外科、そして多くの経験をえられる総合病院への就職を希望するようになりました。実家のある静岡県内で口腔外科のある総合病院を調べ始め、その求人票を見つけたのは応募書類提出締切まで1か月を切ったタイミングでした。病院へ見学に伺い、キャリア支援課とも提出書類や面接の対策を重ね、無事に内定をいただくことができました。

面接練習の積み重ねが不安を自信に変えてくれた

もともと自分の考えを相手に伝えることが苦手な上に実習期間と重なり十分な対策ができるか不安がありました。その中でキャリア支援課の方は面接練習ができるように実習の空き時間に合わせて予定を調整してくださり、大変感謝しています。最初は思うように言葉がまとまらず話が詰まってしまう場面もありましたが、練習を重ねるごとに考えが整理され面接への不安が自信に変わっていきました。

本番ではスムーズな受け答えができたほか、「笑顔や言葉遣い」を意識するというアドバイスのおかげで自分の思いを丁寧に伝えることができました。

皆さんも実習などで忙しい時期もあると思いますが、それを理由にせずにキャリア支援課を積極的に利用してみてください。面接は練習を重ねるほど自信が付き、履歴書の添削などのサポートもとても力になります。

鶴大生に聞いてみた 一人暮らし事情

「一人暮らしって、実際どうなの？」
そんな疑問に答えるべく、一人暮らしをしている学生にインタビュー。
一人暮らしの良かった点や苦労話など、学生が感じる魅力について聞いてみました。



文学部文化財学科1年 まつだ りく 松田 琉矩さん

学生マンションに住んでいます！

一人暮らしを始めようと思ったきっかけはなんですか？

自立した生活を送りたいと考えていて、鶴見大学への進学を機に、実家のある新潟県を離れ神奈川県で一人暮らしを始めました。高校時代は男子寮だったこともあり、最低限の生活スキルを身につけていたことも一人暮らしに挑戦する後押しとなりました。

一人暮らしの良かったこと・おすすめなどはありますか？

自由にのびのびと生活できることです。寮や実家での生活では、周囲の目を意識して行動することが多く、自分なりに制限を感じていました。
一人暮らしを始めてからは自分のやりたいことを大切にしながら生活できるようになりました。自分の生活スタイルや個性、趣味をそのまま反映できる点が魅力だと思います。

イメージしていた一人暮らしと違ったことはありましたか？

家事と時間管理が想像以上に大変です。実家や寮では頼れる人がいましたが、一人暮らしは全部自分でやらないといけないので慣れるまで苦労しました。

普段の食事はどうしていますか？

平日の夕食は学生マンションで出る食事が中心ですが土日は自炊しています。
文化財学科はレポート課題が多く忙しいため、調理時間が短く手軽に食べることができる乾麺や冷凍食品を食べることが多いです。

節約術を教えてください。

安価で長期保存ができる食材をまとめて購入することで食費を抑えています。また、外食や総菜・お弁当はお金がかかるので自炊することを心掛けています。

これから一人暮らしを考えている学生にアドバイスをお願いします。

一人暮らしは自立への大きな一歩であり、自分自身を成長させてくれる貴重な経験になると思います。困った時は一人で抱え込まず、家族や友人など信頼できる人に相談することが一人暮らしを続ける秘訣だと思います。

鶴短生に聞いてみた 一人暮らし事情

「寮生活って、実際どうなの？」
そんな疑問に答えるべく、寮生活をしている
学生にインタビュー。
寮生活の良かった点や苦労話など、学生が感
じる魅力について聞いてみました。



短期大学部歯科衛生科3年 やまもと ゆき 山本 優希さん

女子学生寮に住んでいます！

女子学生寮を選んだきっかけはなんですか？

一人暮らしに憧れはありましたが、学生生活と一人暮らしを同時に始めるのは負担も考えていた時に両親からの後押しもあり、学生生活に慣れることを優先して生活面のサポートがある女子学生寮を選びました。

寮生活で良かったこと・おすすめなどはありますか？

食事が美味しく、安心して生活できる点です。寮では朝と夜で栄養バランスの取れた食事が出るので健康に過ごすことができます。おすすめのメニューは唐揚げです。また、寮母さんや管理人さん、警備員さんが常駐しているため、地震・台風や防犯面も不安がなく安心して生活できます。

寮生同士で交流したりする機会はありますか？

想像していた以上に寮生同士の交流があることに驚きました。テスト期間中に友人と寮内のラウンジを利用して、教え合いながらできるので一人で勉強するよりも効率的に取り組みました。他には季節ごとのイベントがあって年間を通して交流する機会が用意されています。最近では、年末頃にクリスマスパーティーがあり、学部学年関わらず色んな学生と交流しながらディナーやプレゼント交換をして思い出を作れます。

寮食以外はどのようにしていますか？

寮生が自由に使えるキッチンで自炊しています。調理器具が揃っているのでホットケーキを作ったりしていました。中にはお菓子作りを楽しんでいる子もいて気軽に利用できる環境が整っています。

節約術を教えてください。

寮には給茶機や給湯器があるので水筒にお水を入れて外出時に持参します。重たい2リットルのペットボトルを購入しなくて済むのでかなり節約にもなっています。



これから寮生活を考えている学生にアドバイスをお願いします。

寮生活は共同生活なのでルールや周りへの配慮が大切です。最初は慣れないことも多いと思いますが、無理をせず自分なりの距離感を大切にすると過ごしやすくなると思います。

失われたものを復元する楽しみ

私の専門は歴史学の中でも日本中世史、とりわけ中世寺院史です。その中で「修験道」を中心に研究しています。修験道とは、山岳信仰と仏教を基盤に神祇信仰などが習合した日本独自の宗教であり、教団的な組織は戦国時代に出来上がっていくのですが、この過程に強い関心を持っています。山伏が村人の要望に応じて寺院を構え、定住し、民衆と深く結びついて活動していく姿は興味深いものです。

しかし、この神仏習合の象徴である修験道は、明治初年の修験宗廃止令により解体されました。修験者たちは、在地の山伏として残るか、天台宗や真言宗の僧侶になるか、あるいは宗教を離れて百姓になるかを選ばざるを得ませんでした。一度消えた歴史を、史料をもとに研究したり復元する作業は、非常に面白いものです。

自分の関心を見極めることが大切

学生は歴史に興味を持って入学しま

教員のクローズアップ。

文学部文化財学科 准教授

近藤 祐介

研究
テーマ

修験道と中世社会

主要
学科目

日本歴史、歴史資料購読
古文書学、文化財演習



す。特に人気があるのは戦国大名で、宗教や寺院、まして修験道を選ぶ学生はほとんどいません。私自身も大学に進学した時に、今の研究テーマを考えていたわけではありません。

現在の研究分野を選んだのはゼミ選択の際に偶然手に取った本が中世史で、さらに図書館で出会った和歌森太郎氏の『山伏』(中公新書,1964年)を読んで「面白そうだ」と感じたことがきっかけです。また、ゼミの

恩師との出会いも大きな要因です。「本との出会い」、「人との出会い」この二つが私をこの道へ導きました。

学生にとって最初のきっかけは高校の歴史授業でしょう。その中で「何を学びたいか」「何に関心があるか」を見極めることが重要です。戦国大名や刀剣など、入口はさまざまです。そこから専門性を深めるには、一步二歩と踏み込み、専門書を読み、史料に触れることが不可欠です。史料を読むことこそが歴史学の第一歩なのです。

その先の 未来へ

卒業生の現在



しまだ ことみ
島田 琴未さん

三島市立錦田幼稚園勤務
短期大学部保育科2024年3月卒業

憧れの先生を目指して

私自身が幼稚園教諭を目指したのは、幼稚園年長の頃にいつも温かく寄り添ってくれた先生に憧れたことがきっかけです。その先生は、子どもたち一人ひとりの気持ちに向き合い、楽しみながら学べる環境を考えながら、遊びを發明して一緒に遊んでくれました。そんな姿に憧れて幼稚園教諭を目指す鶴見大学短期大学部に進学しました。

実習で実感した「知識から実践への変化」

短大で過ごした中で、特に実習が大きな学びの場でした。授業で学んだことも保育の現場でやってみないと分からないことがたくさんありました。子どもたちの反応を見て、上手くいったこと、改善したいことをその場で経験できたことで、学びが知識から実践へ変わっていくことを実感できました。

また、事前準備の大切さも学びました。計画を立て丁寧に準備することで、子どもたちが安全安心に楽しく過ごせる環境を作れるということに気付き、その意識は今の保育にも大きく活かしています。



「心に残る先生」を目指す

今でも、まだまだ学ぶことが多いですが、その中で日々の保育で新しい気づきや学びがあります。これからも子どもたちの気持ちに丁寧に寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりに貢献し、憧れの先生のように、子どもたちの心に残る先生を目指して成長できたらと思っています。

後輩たちへメッセージ

授業での学びや実習の経験は、必ず現場で生きてきます。思い通りにいかずに悩むこともあるかもしれませんが、その一つひとつが保育者としての力になってきます。失敗を恐れずにいろいろなことを経験してみてください。皆さんの挑戦と成長を心から応援しています。

教育振興支援寄附金募集

鶴見大学は、建学の精神「大覚円成 報恩行持」にもとづき、宗教的信念のある有為の人材を育成する教育をおこなっています。「鶴見大学教育振興支援寄附金」は、学生が主体的に自らの能力を発揮して地域社会の発展に貢献し、感謝や奉仕の心を学ぶ教育活動に供することを目的とし、募集させていただいております。この趣旨にご賛同いただき、多くの皆様に特段のご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

個人でのお申し込みは、公式ホームページからも受け付けています。

<https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/kifu/syui-kojin.html>

◎お問い合わせ先
鶴見大学総務部総務課
電話 045(580)8627



鶴見大学 教育振興支援寄附金

検索

図書館より

卒業生の図書館利用

図書館は卒業後も利用できます。来館時にカウンターへ申し出てください。なお、図書貸出を希望する場合は「図書館利用カード」が必要です。登録手続きを行ってください。

手続きは、3月16日(月)からカウンターで受け付けています。

登録料：500円(証紙)
有効期限：登録日より1年間
貸出冊数：6冊



貸出期間：1ヶ月

※「図書館利用カード」のバーコードをパネルにか

ざすと入退館ゲートが開きます。

※カードがない場合は、入館時はゲート横のチャイムを押し、退館時は声をかけてください。

春のオープンキャンパス

3月22日回 開催!

事前参加登録受付中!

令和8年度 仏教文化研究所公開シンポジウム

【日 時】 令和8年6月13日(土) 午後1時30分より

【会場・方式】 鶴見大学記念館記念ホール・オンライン(ライブおよび録画)配信(予定)

【テーマ】 大本山總持寺祖院の重要文化財指定によせて

【開催趣旨】

今から七百年ほど前、御開山瑩山禪師により能登輪島に開かれた大本山總持寺祖院は、曹洞宗の歴史を語る上で欠かすことのできない寺院です。その壮観たる伽藍は、長い歴史の中で多くの人々の信仰を集め、北陸の地に豊かな文化を育ててきました。しかしその歩みは、幾度となく災害に見舞われてきた歴史でもあります。2007年の能登半島地震で損壊した伽藍の再興がようやく成り、開山の大遠忌を迎えるばかりであった2024年の元日。再び半島を地震が襲いました。祖院も甚大な被害を受けましたが、今、周辺地域とともに、あらたな復興の途にあります。そうしたなか、2024年10月、16棟の建造物が国の重要文化財に指定されました。

本シンポジウムでは、祖院に育まれた歴史的・文化的な価値を、建築、美術、宗教文献といった様々な知見から再確認します。

このシンポジウムが祖院への理解を深める一助となり、継承してゆくべき文化遺産の未来を考える機会となれば幸いです。

【登壇予定者】

基調講演：高島弘成老師(大本山總持寺祖院)

「總持寺祖院—近世以降の伽藍配置から見えてくる重要文化財指定への道すじ」

提 題①：ゲッペルト堀内絢子先生(株式会社文化財工学研究所)

「大本山總持寺祖院の明治大火後の再建伽藍建物と平成19年能登半島地震からの復興について」

提 題②：小島裕子先生(鶴見大学仏教文化研究所)

「總持寺祖院〈被災文化財〉の復興—大祖堂欄間の太祖一代彫刻、および莊嚴の講式・伽陀のこと」

提 題③：武井慎悟先生

「總持寺祖院における歴史的価値の再確認—所蔵資料の活用について—」

パネルディスカッション：司会/尾崎正善先生



2026年度オープンキャンパス日程が決定いたしました。どうぞご期待ください。

学科紹介、模擬授業、個別相談など実施予定です!

全学科同時
開催予定

4月26日回・5月31日回・7月5日回・7月26日回・8月23日回

平日ふらっとオープンキャンパスWEEK 6月15日回～6月19日回

オープンキャンパスmini 9月5日回・9月26日回・10月24日回

キャンパスツアー&コミュニケーションTime

※紫雲祭開催期間内

10月25日回・11月28日回・12月12日回

保育科体験フェア 5月24日回・6月13日回^{※1}・7月31日回^{※2}

◎同時開催(※1 保育園で子どもと遊ぼう! ※2 幼稚園で子どもと遊ぼう!)

歯科衛生科体験フェア 5月24日回・6月13日回・7月31日回

歯学部体験入学 7月26日回・8月2日回^{※1}・8月23日回・9月26日回^{※2}

※1 歯学部体験入学YOUTH(中学生対象) ※2 歯学部体験入学mini

*詳細は、決定次第順次『鶴見大学入試センター公式 受験生応援サイト』でお知らせします。

横浜



Tsurumi University Tsurumi Junior College

ホームページ

公式X(旧ツイッター)

公式インスタグラム



●授業、成績、各種届出などに関する事	文学部教務課 短期大学部教務課 歯学部教務課	☎045-580-8212 ☎045-580-8322 ☎045-580-8203
●奨学金、課外活動、通学証明書、学割などに関する事	学生支援課	☎045-580-8217
●キャリア・就職支援、求人申込などに関する事	キャリア支援課	☎045-580-8225
●入試情報、オープンキャンパスなどに関する事	入試課	☎045-580-8219
●健康に関する事・健康診断について	保健センター	☎045-580-8283
●歯学部附属病院に関するお問い合わせ 初診のお問い合わせ	初診科	☎045-580-8503 ☎045-580-8540
●広報について	総務課	☎045-580-8627